

褥瘡発生率

【指標の説明】

褥瘡は、看護ケアの質評価の重要な指標の1つとなっています。褥瘡は患者のQOLの低下をきたすとともに、感染を引き起こすなど治癒が長期に及ぶことによって、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。そのため、褥瘡予防対策は、提供する医療の重要な項目の1つにとらえられ、1998年からは診療報酬にも反映されています。

【定義・計算方法】

$$\frac{\text{集計対象年月に褥瘡システムに院内発生(初回)で褥瘡データが登録された患者数}}{\text{入院患者延べ数(医事入院情報より、指定年月で在院があった患者)}} \times 100 (\%)$$

入院患者延べ数（医事入院情報より、指定年月で在院があった患者）

※褥瘡発生件数は初回の院内発生のみを取得（同一患者への2回目以降の院内発生率は除外）

【データ収集期間】

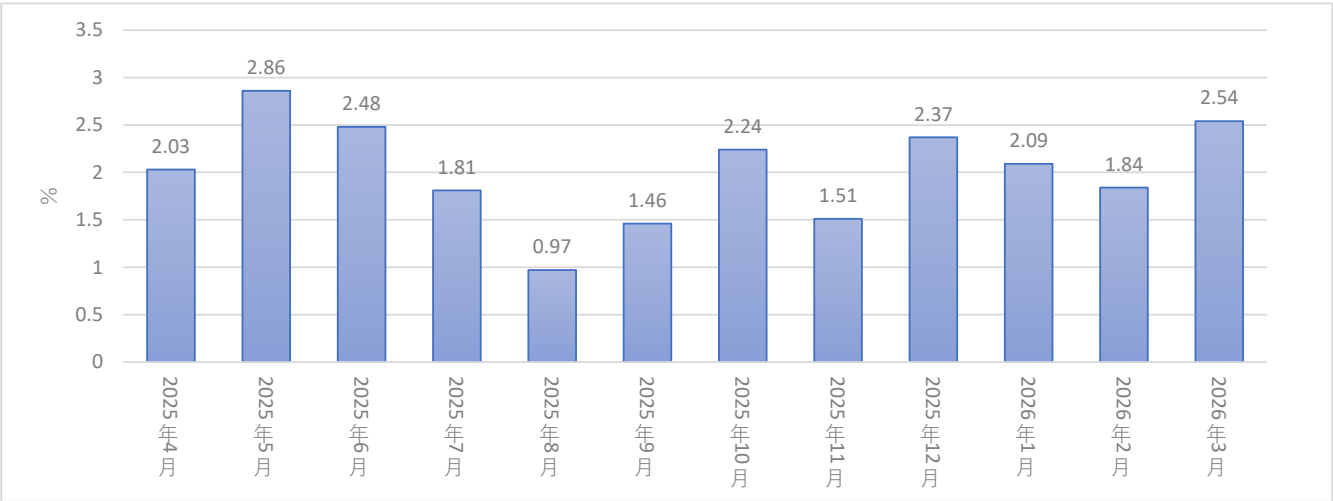
1ヶ月毎

【データ抽出方法】

SSIPlatform

【値の解釈】

プロセス / より短い値が望ましい



【年次推移】

